

このまちで暮らす生活者の視点から
地域に必要な福祉を考えていくために

地域交流室「みんなのサロンなつめ」(秦野市)



①～⑤住宅街の中、目印の看板が立つ5階建ての元社員寮。サロンはその1階にあり、2LDKの居室をリフォームした室内は広々として、気持ちの良い風が通ります。裏手には小さな公園スペースも！
⑥⑦8月に開催した「流しそうめん」イベントには、子どもから大人まで、たくさんの方たちが集まりにぎわいました

秦野市北地区は、山林や農地に囲まれた緑豊かな地域です。人口は約1万3千人。民間福祉施設が多くあり、北地区社協では「地域と施設で支え合う、元気の出る里づくり」を福祉目標としています。本年5月、この地区に、(福)常成福祉会による地域交流室「みんなのサロンなつめ」が開設されました。立ち上げのきっかけは平成20年、「当事者支援推進事業」(県事業)にさかのぼります。ここでは、生活に困難を抱える方と家族の視点に立った地域支援のあり方について、当事者家族、福祉・法律専

門職、社協や行政職員等が集まり、「地域支援ネットワークモデル」の整理を進めました。同会では、その実践に向け、総合相談機能や在宅福祉サービス事業を併設した地域拠点「とかわサポートセンター」を開設。平成24年には「ライツ」はだのネットワーク委員会を立ち上げ、多分野の専門職間・地域住民間・地域住民と専門職間のネットワークづくりを推進しています。「支援を必要とする人が、地域とのつながりが少なかったとしても、限られた『誰か』とつながって



表紙の伊藤さん(右)と本間さんご夫婦。サロンの玄関には、お二人による手作りの紙細工が彩りを添えています

◆(福)常成福祉会
地域交流室「みんなのサロンなつめ」
秦野市戸川702 なつめヴィラ106号室
☎/FAX 0463-79-5032
URL <http://www.jousei.or.jp/>

いるかもしれない。その『誰か』と専門職がつながるきっかけをつくることはできないだろうか」
これまでの実践を踏まえた課題の投げ掛けに、同会は社会福祉法人の社会貢献事業として、地域交流に焦点化した拠点開放型サロンを新設することとしました。
「開設から4カ月、地域活動グループからの問い合わせや『拠点を使得って何かしてみたい』という声も聞こえるようになってきた。地域で生活する皆さんの思いが広がる場となるように、皆さんの力を借りながら一緒に考えていきたい」と担当職員の伊藤さん(表紙)。
地域に暮らす生活者の視点から必要な福祉のあり方を探る、社会福祉法人の挑戦は続きます。
(企画調整・情報提供担当)

医療・福祉界の健全発展に資することが私たちの使命です。

医療・福祉業界の皆様が抱える様々な問題の解決に向けて、経営コンサルティング・税務会計・会計監査などの専門サービスを総合的に提供できる体制を整備しております。

- ◆福祉経営・医療経営コンサルティング
- ◆福祉施設・医療機関への人事コンサルティング
- ◆福祉施設・医療機関に特化した税務会計・代行
- ◆福祉施設の第三者評価事業 など

福祉施設の皆様が地域のニーズに応え、時代や政策に適切に対応できるようご支援します。ご気軽にご相談下さい。

川原経営グループ
(株)川原経営総合センター/税理士法人川原経営



東京都中央区銀座 8-11-11 TK 銀座 8 丁目ビル
TEL (03) 3572-3051 E-mail: info@kawahara-group.co.jp
URL : <http://www.kawahara-group.co.jp/>

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています